

小学校第5学年 社会 調査票

() 組 () 番 氏名 ()

1 あきごさんたちは、けいざつの仕事について調べました。次の(1)と(2)の問題に答えましょう。

(1) あきごさんたちは、ある事故について調べ、事故の知らせがどのように伝わるのかについて、資料にまとめました。

資料 事故がおきたら

① 資料の中の女の子がこの事故の通報をしています。下の火事などの通報の仕方を参考に、名前の後に続く通報の内容をふき出しの□の中に書きましょう。

(参考) 火事などの通報の仕方

- 自分の名前
- 何かもえているか
- 場所はどこか、または近くにある目印になるものは何か

事故のときの通報内容

もしもし、私の名前は〇〇です。

調査時にはここにイラストが入る

調査時にはここにイラストが入る

事故の現場

② 通報を受けた通信指令室は、どこに連らうくしますか。上の資料を見て、連らうくするところをすべて□の中に書きましょう。

□

(2) 事故や事件をふせぐくみについて下の図のようにまとめようと思います。抱いぎで事故や事件をふせいでいくために大切なことを考え、アに入る言葉を□の中に書きましょう。(図の中の3つのアには同じ言葉が入ります。)

事故や事件をふせぐためのしくみづくり

調査時にはここにイラストが入る

□

小社一1

2 あきごさんたちは、自分たちが住んでいる市のくらしをささえる水について調べました。次の(1)から(3)の問題に答えましょう。

(1) あきごさんは、自分たちのもどに水がとどくまでを右のようにまとめました。資料1のBのしぜつの名前とそどをやくわりを□の中に書きましょう。

資料1 水がとどくまで

A 調査時にはここにイラストが入る

C 調査時にはここにイラストが入る

しぜつの名前

やくわり

B 調査時にはここにイラストが入る

(2) あきごさんは、資料1のCについて、資料2を見ながらひろろろさんと話し合っています。

資料2

あきご：家庭で使う水の量は7㎡で一番多いね。

ひろろろ：節水のために家庭でできることはないかな。

① アに入る数を□の中に書きましょう。

□

② 資料1のCの場面、家庭でできる節水の方法を1つ考え、□の中に書きましょう。

□

調査時にはここにグラフが入る

(3) 資料3は、資料1のAの様子です。⑦や⑧についての説明で正しくないものを、DからFまでの中から1つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

資料3 水源の様子

調査時にはここにイラストが入る

D ⑦をつくるだけでなく、④を守り、自然の力をかりて水をたくわえることも大切だ。

E ⑦はまわりとの協力や自然とのかかわりを考え、計画的につくる必要がある。

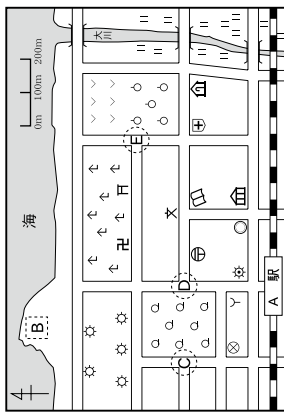
F ④は飲み水をたくわえるので、「青いダム」と呼ばれている。

□

小社一2

3 ひさこさんは、学校のまわりの様子について調べ、地図にまとめました。下の地図を見て、次の(1)から(4)の問題に答えましょう。

地図 ひさこさんの住んでいるまち



(1) A駅から出発して、最初に博物館、次に図書館に立ちよって、最後に老人ホームまで行くと、約何m歩くことになるでしょうか。下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

- ア 約400m
- イ 約600m
- ウ 約800m
- エ 約1200m

(2) 下のメモは、ひさこさんがどの場所を書いたものでしょうか。地図のC、D、Eの中から1つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

メモ

わたしが立っている所から東側を見ると、イチョウ(広葉樹)の木があります。反対側を見ると、西の方にける道が目の前にあります。

(3) ひさこさんが地図をつくる時、Bの場所にはる地図記号のシールを、まちがってちがう場所にはってしまいました。それは、どの地図記号のシールですか。下のアからウまでの中から1つ選んで、その記号を□の中に書き、そのように考えたわけも書きましょう。

- ア 市役所のシール
- イ 灯台のシール
- ウ わけ

(4) ひさこさんは、まちの様子を調べて分かったことをカードにまとめました。下のアからエまでのカードの中で、下線の部分に注意しながら、まちがっているカードを1つ選んで、その記号を□の中に書き、正しい文に書き直しましょう。

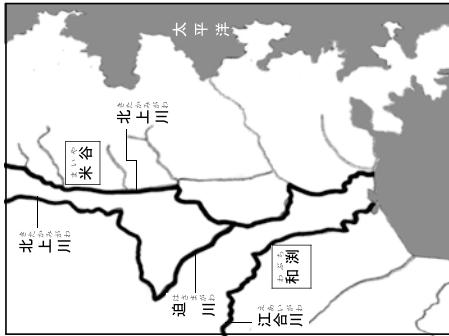
- ア 学校から見て北西の方向には、工場が集まっている。
- イ 大川は、北から南へと流れている。
- ウ 学校から見て北の方向には、竹林の中に寺と神社がある。
- エ 大川のまわりには、田んぼがある。

記号 正しい文

小社一3

4 ひろろさんは、自分たちの住む地いきにある「北上川」の工事や流れのうつり変わりについて調べ、資料1と資料2にまとめられています。次の(1)と(2)の問題に答えましょう。

資料1 宗直と孫兵衛の工事が始まる前の北上川の流れの様子



資料2 北上川の工事

今から400年ほど前の江戸時代、仙台平野北部では、しめり気が多い土地がほとんどで、水田はあまりありませんでした。また、この土地を流れる北上川は何度もこう水をおこし、人々の生活を苦しめてきました。そこで、仙台的殿様だった伊達政宗は、北上川の川の流れを変え、この土地を米がたくさんとれる場所にしようと考えました。

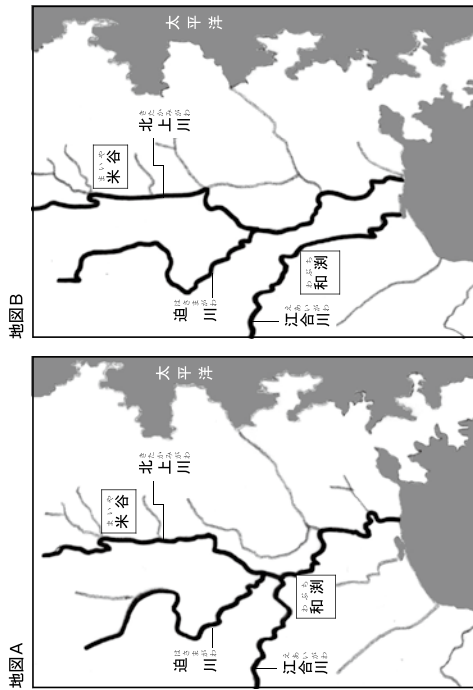
伊達政宗は、まず始めに家来の伊達宗直に北上川の流れを変える工事を命じました。宗直は、5年もかかって2本になっていた北上川を米谷の近くで一本にまとめ、約6.6kmの堤防を築きました。しかし、工事が終わっても川の流れが急でこう水が多く、人々の生活は良くなりませんでした。

北上川の工事をあきらめなかった伊達政宗は、次に川村孫兵衛に北上川の工事を命じました。孫兵衛は、北上川の流れをゆるやかにするために、川はばを広げる工事をしました。さらに、和清で北上川・道川・社谷川の流れを一つにまとめました。

孫兵衛の工事が終わると、こう水が少なくなりました。そして、水田が増え、米がたくさんとれるようになりました。また、船の行き来も盛んになり、たくさんとれた米は北上川を利用して江戸(現在の東京)に運ばれ、売られるようになりました。

小社一4

(1) 下の地図Aと地図Bは、工事のあとの地図です。川村孫兵衛が仕事を終えたあとの地図を、地図Aと地図Bから1つ選んで、その記号と選んだわけを□の中に書きましょう。



記号	わ	け

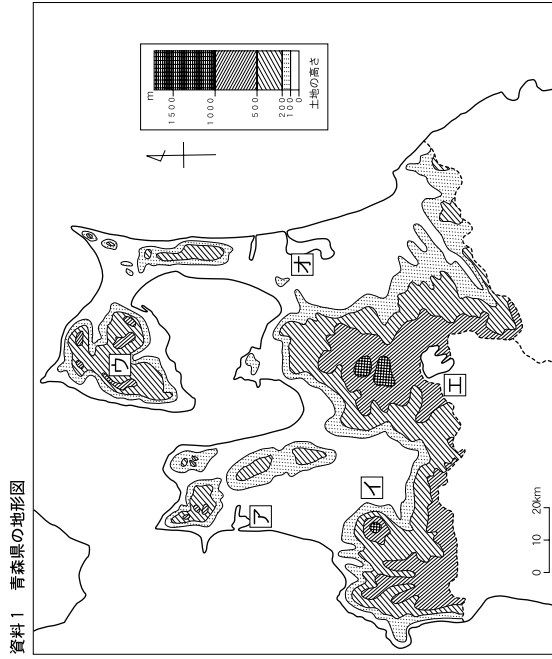
(2) ひろろさんは、川村孫兵衛の工事が完成したあとのこの土地に住む人々の思いについて話し合い、カードにまとめました。下のアからオまでのカードの中で、資料2からは言えないものを2つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

- ア 川の流れが急で、船ですぐに江戸に行けるようになった。
- イ 前よりもお米がとれるようになった。
- ウ 船の行き来で外国人も来るようになり、にぎやかになってうれしい。
- エ お米を船で売りに行けるようになった。らくになった。
- オ 前よりもこう水がへって、安心してくらすようになった。

と

小社-5

5 ひろろさんは、青森県の地形について調べました。次の(1)から(3)の問題に答えましょう。



(1) 下の写真1、写真2は、どこでさつえいされた写真でしょうか。ひろろさんが書いた説明カードを読んで、資料1のアからイまでの中から合うものを1つずつ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

写真1	調査時にはここに写真が入る	説明カード 平野に水田が広がり、西側に岩木山が見えます。
写真2	調査時にはここに写真が入る	説明カード 青森県と秋田県にまたがる湖です。

小社-6

(2) 資料2の中のA、B、C、Dを断面図にした場合、土地のかたむき方がゆるやかなのはどちらでしょうか。下のAとイから1つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。また、選んだむき方を等高線という言葉を使って□の中に書きましょう。

資料2 青森県の中央部の地形図



A A-Bの方がゆるやか

記号 □

I C-Dの方がゆるやか

わけ □

(3) ひさこさんは、青森県の地形の持ちょうをカードにまとめています。あなとも、□の中から2つの言葉を使って、3枚目のカードの文を完成させましょう。

1枚目のカード

青森県の中央部は、山地になっている。

青森県は、秋田県と岩手県に接している。

2枚目のカード

二方向 三方向 海 川

3枚目のカード

青森県は、□□□□に、かこまれている。

6 下の資料を見て、次の(1)から(3)の問題に答えましょう。

(1) 青森市と八戸市を結ぶ鉄道の名前を、下のAからカまでの中から2つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

- A 五能線
- I 奥羽本線
- ウ 津軽線
- E 東北新幹線
- オ 大湊線
- カ 青い森鉄道

□ □ と □ □

資料 青森県の鉄道



(2) 下のひさこさんの話から、ひさこさんが住んでいる市を、上の資料のAからEまでの中から1つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。また、その市名を□の中に書きましょう。

ひさこさんの話

私が住んでいる市は、青森市から見て南西の方角の位置にあります。春は、お城のある公園で行われる桜祭りが有名です。

記号 □

市名 □

(3) 下北半島を通っている鉄道の名前を、□の中に書きましょう。

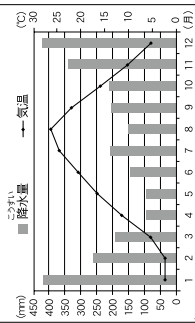
線 □

小社一7

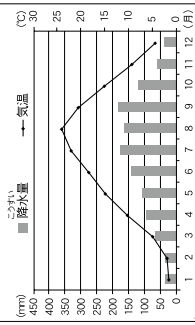
7

ひろろさんたちは、上越市と仙台市の気候のちがいを説明するために、資料1・資料2・資料3・資料4を集めました。次の問題に答えましょう。

資料1 上越市の気温と降水量(日本海側の気候)



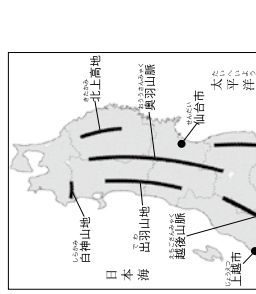
資料2 仙台市の気温と降水量(太平洋側の気候)



資料3 季節風と山地(高地・山脈)の関係

調査時にはここにイラストが入る

資料4 東北地方の主な山地(高地・山脈)



※一部他の地方がふくまれています

ひろろさんたちは、上越市と仙台市の気候のちがいについて説明しています。①～⑧にはあてはまる言葉を、AとBにはあてはまる季節を、それぞれ資料の中の言葉を使って、□の中に書きましょう。



ひろし

上越市の気候も仙台市の気候も(①)を示す折れ線グラフの形はにています。しかし、(②)を示す棒グラフの形は季節によっでちがいががあります。

- ① □
- ② □
- ③ □
- ④ □
- ⑤ □
- ⑥ □
- ⑦ □
- ⑧ □
- A □
- B □



まさこ

上越市の気候でAよりもBに降水量が多いのは、(③)から(④)がふき、(⑤)山脈にぶつかって日本海側に雪や雨をふらせるからです。



ひさこ

仙台市の気候でBよりもAに降水量が多いのは、(⑥)から(⑦)がふき、(⑧)山脈にぶつかって太平洋側に雨をふらせるからです。

8 あきこさんたちは、庄内平野の米づくりについて調べました。次の(1)と(2)の問題に答えましょう。

(1) あきこさんたちは調べたことを、右の4枚のカードにまとめました。
下の①から④のことを調べてカードにまとめたい人の名前を、□の中に書きましょう。

① 米づくりにいろいろな費用がかかることを調べてカードにまとめたい人。

② 庄内平野でつくられるお米の品種が改良されてきていることについて調べてカードにまとめたい人。

③ 庄内平野で、米づくりがさかんな理由を水や風との関係から調べてカードにまとめたい人。

④ 農作業の時間が少なくなることと関係が深いと思われることを調べてカードにまとめたい人。

さん

(2) 日本の米づくりについて話し合っていると、先生が右の資料1を見せられました。

資料1を見て、次の問題に答えましょう。

① 1980年の米の生産量は、およそ何万tでしょう。

おおよそ 方t

② 1975年から1990年にかけて、米の消費量はどのように変化しましたか。下の□の中に書きましょう。

③ 米の消費量を増やすための工夫の中で、おいしい米づくりに関係していると考えられるのはどれのカードでしょう。また、選んだ理由を□の中に書きましょう。

あきこさんのカード

○川が運んだあきこさんの土地でできた庄内平野は、豊かな灌漑けりがあり、米づくりがさかんだ。
○夏には「宝の風」とよぶあきこにたくかわわいた風がふいて稲をしようぶにしている。

ひろしさんのカード

○田おこしや田植え、稲刈りは農機を使っている。また、ヘリコプターを使った農薬散布もしている。
○は場整備し、農機で作業がしやすいうような工夫もしている。

まさこさんのカード

○「はえぬき」という品種の米は、いろいろな品種のよいところを集めて、改良された。
..... 品種4号 稲穀20号
..... 稲穀665
..... 稲穀202号 あきたこまち はえぬき

たかしさんのカード

○米づくりに、たおもみ代や機械にかかる費用や農薬代など、いろいろなお金がかかっている。
..... 農薬・肥料 農機
たねもみ

資料1 米の生産量と消費量の変化

調査時にはここにグラフが入る

() さんのカード

わけ

小社一9

9

下の資料1・資料2・資料3を見て、次の(1)と(2)の問題に答えましょう。

資料1 日本のまわりの国の様子

調査時にはここに地図が入る

調査時にはここに地球儀が入る

資料2 地球儀

資料3 国旗

A 調査時にはここに国旗が入る

B 調査時にはここに国旗が入る

C 調査時にはここに国旗が入る

D 調査時にはここに国旗が入る

Aの国名 () 国旗 ()

Iの国名 () 国旗 ()

(1) 資料1を見て、日本の西側に位置するAとIの国名を□の中に書きましょう。また、AとIの国旗を、資料3のAからDまでの中から1つずつ選んで、その記号を()に書きましょう。

(2) あきこさんたちは資料2を見て、世界の中で日本の位置やそのまわりの様子について話し合っています。3人の会話の()の言葉が正しい場合は○を、まちがっている場合は、正しい言葉を、□の中に書きましょう。

あきこ : 日本は、(オセアニア)大陸の東側にある国なんだね。

まさこ : 日本は、赤道より北に位置しているから、(北半球)にある国なんだね。

たかし : 日本のはるか南には、日本と同じ(緯線)が通るオーストラリアがあるね。

あきこ : () まさこ : () たかし : ()

小社一10